

# 常磐毎日

発行所 75社  
 行田新 210  
 市日新 1,269  
 常磐毎日新聞社  
 編集長 藤越 小次郎

## お手盛り値上げ? 決る

### 議員一万五千圓也に

#### 平市支給は十月にさかのぼつて

平市のサヨナラ定期市議会は午前中の協議会に引続いて午後一時から市役所議事堂で再開された。本会議で金子、金古両議員から「協議会事情に即して会期を決め、議会運営の円滑化を図るべき」との強い要望があり、萩原建設委員長から去る九月定期市議会に付託された八幡小路、古鍛冶の道路舗装費一件は不採用となつた旨報告があつた。続いて伊藤助役から議案説明があり、質疑応答に入つた。質疑では議員の賃金も反増額といふ問題もあつた。三十三年度追加修正予算、新川北第二工地区画整理事業才入出追加、総額年別支出方法変更の三議案を委員会に付託、議員の報酬引上げ、市議員のヘースアップなど二十議案を万端一致で可決した。なおお手盛りで決つた市議の報酬額は五割引上げを最高に月額二万円(現行一万七千円)副議長二万七千円(二万三千円)議長二万五千円(二万円)となり十月一日にさかのぼつて支給。さきにも議員の期末手当は現行の百分の百を百分の百二十に引上げ、十二月分から支給が適用されることになつた。二百四十六名は前月時から多額議員会、午後一時から会議を開き、委員会の報告と質疑、人権擁護委員の推薦と一般質問が行われた。

## 勿來に轢き逃げ

### 被害者は四十才位の男

路上で血まみれになつて死んで、警に届出た。届出を受けた同署で、男が発見された。二十五日午後六時二十分ごろ勿來市福田町後地内県道上、後方所轄に四十才位の男が頭部を轢かれ血まみれになつて死んでゐるのを勿來市山田町宇津北郷淳三さんが発見、勿來

## 期末手当で荒る

### 四倉のサヨナラ町会

ボート支給改正案などを決める四倉町議会のサヨナラ町会はきのう二十五日午前九時から町役場議事室で開いた。議長の三方月にわたつてひんびんと町内に発生した経理事件の解決について報告があつた。町議員の手当引上げについて古市議員から議案で決まらないうち増額支給するのは議案審査も

当局でも早速対策をたてることになつたが、すでに二ノハトリ小島が落ちさうになつてゐることもあり入居者たちは気をもんでゐる。問題の箇所は古鍛冶踏切を渡つてすぐ右側の高台にたゞたれ一号地、二号地に区分されてゐるが、六米高の道路面からの高台は、六米高の道路面は崖にたつてゐるが昭和二十六年に入居してから雨の降るたびに土砂が崩れおち、このため住宅から二メートル先にあつた崖が崩れては「メートルぐらゐを崩してはけずられ、ひどいときは木がくさりさうな状態になつてゐる。」

## 土佐犬斗技大會

### 五日 平市三十米通りで

土佐普及会支部は五日三十米通りで土佐犬斗技大會を開いた。今年もまた渡辺チ子先生に伴われて母子寮へ湯のみ茶碗二十組を寄贈した。寄贈したことからこの行が明らかになつた。

## 危険な住宅

### 平で補強陳情

平市八幡小路の市営住宅は国道沿いの高台にあるが地盤が弱いため雨が降ると土砂が崩れるので、附近の住人たちはこのまま放つて置いたら家も崩れ落ちてしまつては困ると陳情を繰り返して、市当局に対して補強工事をするよう陳情した。市

## 野天風呂消える

### 内郷来春浴場を一千萬圓

内郷市定期市議会三日目は二十五日午前九時から本会議室で開き、三十二年追加修正予算案三十三万七千九百九十九円(計三億七千七百九十九万五千五百一十円)など十五議案を本会議で可決した。主な議案は▽温泉利用事業計画は温泉熱を利用してシイタケを

改正の件は大浦保育所建設工事の件は三十二年度才入出追加修正予算の件  
 少年ドロ拳る  
 警署では二十五日市定少年少年(心)を盗む疑いで逮捕した少年は去る十月二十七日この田村黒田雑貨商團一さん方から雑貨本と約二万円相当を盗んだもの

小名高生の善行わかる  
 小川屋さんで寄附  
 又見のナガノ  
 感謝状贈る  
 平児童相談所

父高杉清一 齋戒して病氣療養中の父十二月二十五日午後九時五分死去致しました。茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申し上げます。  
 昭和三十三年十二月二十六日  
 平市北白十字中島五  
 嗣 子 高 杉 清 壽  
 親戚代表 松 村 長 谷 川 板 本 淺 次 郎 政 親 亨

父健次郎 齋戒して病氣療養中の父十二月二十六日午後八時八分死去致しました。茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申し上げます。  
 昭和三十三年十二月二十六日  
 福高平市紺屋町二十四  
 妻 主 西 脇 健 吉  
 親戚代表 西 山 恵 一

鍋類。おでん 始めました  
 忘年会。新年会 (持込歓迎)  
 (多少に拘らずご利用承ります)  
 一 良 久  
 平市五丁目 電話 328

贈答風景はとみに悠々たり  
 ちん餅加工 承ります  
 水の打たない 足の強い  
 平製パン  
 外科 金成医院  
 平市銀田町 電話八三六

御婚礼用家具一式  
 各種豊富陳列  
 伊東家具店  
 平市新川町 電話四六四  
 工場 平市大町二九

御挨拶  
 文化娯楽場「四倉国際劇場」は  
 シネマスコープ装置を完備  
 昼夜三回連続上映致す事に成りました  
 試写会  
 絶天 然色 「永すぎた春」  
 絶天 然色 「水戸黄門」  
 合資 四倉国際劇場

# 昨年の三倍に達す

## 多い平驛の貨物取扱

平驛の貨物取扱は、浦安市平の台所といわれるだけに最近貨物の輸送が激増して作業量を増やしてきている。すでに十二月月上旬の輸送は昨年同月に比べて三倍に達して八百八十八トン、到着は三千トン多、この分だけ輸送が激増している。昨年十二月の輸送は約二千四百トン、到着は二千二百トンに達している。昨年十二月の輸送は約二千四百トン、到着は二千二百トンに達している。昨年十二月の輸送は約二千四百トン、到着は二千二百トンに達している。

# 優等賞など全廃

## 常磐の小中校で決める

常磐市内小、中校長会は来年度の卒業式から優等賞、努力賞、進歩賞、進歩賞など各賞を全廃する。同校長会では、各賞の生徒に与える影響を考慮して、進歩賞を廃止して努力賞と進歩賞を併せて進歩賞とする。努力賞、進歩賞を併せて進歩賞とする。努力賞、進歩賞を併せて進歩賞とする。

# 深夜営業で 注意要

市内の飲食店(二十四、二十五)は、深夜営業の注意を促されている。市内の飲食店(二十四、二十五)は、深夜営業の注意を促されている。市内の飲食店(二十四、二十五)は、深夜営業の注意を促されている。

# 郵政職員試験の合格者

郵政省初級職員採用試験は二次にわたって行われ、二次試験合格者は、二次試験合格者である。郵政省初級職員採用試験は二次にわたって行われ、二次試験合格者は、二次試験合格者である。

# 隣保館で X マス

平市隣保館では二十四日午前九時、この遊戯会を催した。平市隣保館では二十四日午前九時、この遊戯会を催した。平市隣保館では二十四日午前九時、この遊戯会を催した。

# 十一月の失

平市支店による十一月の失、平市支店による十一月の失、平市支店による十一月の失。

# 四倉の鈴木氏

四倉町四倉三丁目鈴木氏、四倉町四倉三丁目鈴木氏、四倉町四倉三丁目鈴木氏。

# 助け合い運動

警城市各家庭に呼ぶ、警城市各家庭に呼ぶ、警城市各家庭に呼ぶ。

# 小学校の手入

二十六日勿来市、二十六日勿来市、二十六日勿来市。

# 求人案内

▽男子土木技術者一名二十、▽男子土木技術者一名二十、▽男子土木技術者一名二十。

# ラジオ

今晩のラジオ、今晩のラジオ、今晩のラジオ。

# 今晩の映画

今晩の映画、今晩の映画、今晩の映画。

### 竹林病院

院長 竹林 貞吉

内科	外科
小児科	整形外科
皮膚科	泌尿器科
理学療法科	レントゲン科

本院 平市五丁目一三番地  
分科棟 平市小太町十三番地  
電話 一七四番

### 六段羊羹

世界の名産 六段の作曲家 八橋検校は平市の生れ

平名物 六段 平市  
電話 509

### 建築 ブロック

SSKプロック(完全石垣)  
多少に拘らずご用命下さい

平地区特約店 小宅 平市七町七丁目  
株式会社 岩瀬セメント工場

### 廣越肉店

命は 1726  
御用電話 1726

特選 牛・豚・肉

平市田町10

### 女子従業員募集

☆面接日 十二月二十八日  
午後一時から三時まで

☆希望者は履歴書持参

当館事務所まで直接御來所下さい

ひかり座 電話1388番

### 常磐黒がに

常磐黒がに 新製品

あさ川の 新製品

常磐黒がに

常磐黒がに

常磐黒がに

あさ川 製菓株式会社

水戸市大工町小路 電話2561・2908  
支店 平市南町 電話1414

### 安戸屋

平市南町 電話1414

安戸屋

### 旅館 倉

平市四丁目 電話2213

岩風田完成

ご商談に...その他ご会合に...  
アナタの御字算に...

### 常磐名産 (登録商標)

常磐 黒がに

常磐 黒がに

常磐 黒がに

### 安戸屋

平市南町 電話1414

安戸屋